

## 総合情報処理センター設立への背水の陣

情報処理センター運営委員長 柴原 正雄

昭和61年5月、将来計画検討委員会（第77回）で総合情報処理センター構想検討委員会が設置され、各部局委員各位の5回に渡るご熱心なご審議と、また各部局各位のご理解もいただき、お陰様にて12月には答申内容もまとめ、昭和62年1月には早速、将来計画検討委員会（第82回）及び評議会（第461回）に報告を行い、それが金沢大学総合情報処理センター構想の基本的指針として承認され、続いて4月には、総合情報処理センターを具体化すべき実務委員会の設置が将来計画検討委員会（第83回）で承認され、評議会（第464回）でもこれが了承されましたことは、既に前巻1号にご報告した通りであり、各部局委員の方々には勿論、センターをご利用の皆様各位の益々のご理解とご協力をお願い致しておいたところであります。

さて、実務委員会は昭和62年10月21日に第1回が開催され、学内共同教育研究施設として金沢大学総合情報処理センターを実現するために必要な事項を計画・立案することを目的とするとの要項に従い、学長より昭和64年度概算要求に関する事項の立案を指示され、私が委員長に指名されたのであります。吉田センター長をはじめとして、委員各位には何かとご多用のところ、前年度の構想検討委員会の場合と同様、極めて熱心に審議を進められましたことは、利用者の方々とともに、ここに改めて厚くお礼を申し上げたいと思う次第であります。

委員会では、前記の承認決定している「総合情報処理センター構想」を踏まえることは勿論、本学の現状並びに情報処理センター運営委員会レベルで審議されて来た先年度概算要求等も見直し、現時点として重ねて審議、検討すべき4本柱として（1）設置場所、（2）システムの規模とその構成、（3）通信回線網、（4）人員 を挙げ、鋭意、慎重審議を致したのであります。

設置場所については、角間地区での設置では実現が遅くなるので、一日も早い総合情報処理センター設立のため、64年度概算要求での設置場所は現有施設内とすることが協議決定され、この線で強力に押すこととなりました。また、キャンパスにおける将来の理想的な通信網として参考までに「学内統合情報ネットワーク（案）」も作成し、以上を昭和64年度金沢大学総合情報処理センター概算要求（案）として、2月19日の将来計画検討委員会（第92回）及び評議会（第473回）に報告し、承認、了承されたのであります。1月に機種更新を行ったとはいえ、依然として処理能力の臨界点にあるセンターの窮状から脱出を図るため、総合情報処理センターを目指す64年度概算要求には背水の陣をもって臨む所存であります。各位の何分のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

最後に、重ねて角間地区の将来を見通した学内統合情報ネットワークの基礎作りと総合情報処理センターの設置が、共に64年度概算要求として円滑に実現することを心から祈念して止みません。

（63.5.22記）